



## 今号の内容

- \* 薫風自南来
- \* 前期中間考査について
- \* オンライン進路ガイダンスについて
- \* 保護者対象進路ガイダンスについて
- \* 小論文・志望理由書ガイダンス  
職業適性検査について
- \* 編集後記



## ～5・6・7月の進路行事予定～

- 5/23 (月) オンライン進路ガイダンス①②③  
公務員模試②③
- 5/31 (金)～6/3 (金) 前期中間考査①②③
- 6/ 6 (月) 公務員模試②③
- 6/11 (土) 大学入学共通テスト模試③
- 6/22 (水) 小論文・志望理由書ガイダンス  
職業適性検査③
- 6/29 (水) 面接練習②③
- 6/30 (木) 公務員模試②③
- 7/ 1 (土) ベネッセ総合学カテスト①②③

## お知らせ



中間考査後は、求人票や指定校一覧表の公開、三者懇談、模擬面接と進路を決定する上でとても大切な行事が続きます。三年生がゆっくりと自分と向き合い、落ち着いて自分自身の進路を考えることができる唯一の時間です。この貴重な時間を無駄にしないようにしてください。梅雨の季節になります。くれぐれも体調管理には気をつけてください。

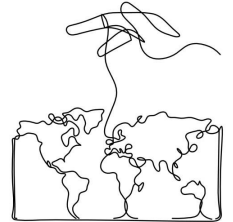


## 薫風南より来たる

4月8日の入学式から長い1ヶ月が過ぎました。さぞかし疲れが蓄積したのではないのでしょうか。しかしながら、ゴールデンウィークのおかげで、一息つけたことと申します。5月に入り、日中は気温も上昇し、初夏を感じさせる季節になってきました。今月号では、禅語「薫風自南来」について紹介します。新入生のみなさんが新たに飛騨高山高校に入学し、爽やかな風を運んでくれました。学校全体の新陳代謝が活発になりました。2年生、3年生も入学したころの志を忘れずに、学校生活を情性で過ごすのではなく、一日一日を大事に、勉学と課外活動に取り組んでほしいと思います。「薫風自南来」には、薫風が吹いた後は、無駄なものなくなったような境地に至ると言う意味もあるそうです。ゴールデンウィーク中に「書いて考える進路」を保護者の皆さんと取り組んでもらいました。もちろん進路を自らの意志で決定することは当然ではありますが、とかく若い時は経験不足もあり独りよがりになりがちです。保護者の方や担任の先生と相談し、余計な拘りや感情で、自分の特性や適性を見誤ることがないように、また、自分のことを振り返るためにも「書いて考える進路」を活用してください。

さて、現在も、ヨーロッパは世界中を巻き込んでの大混乱で、収束する目処は立っていません。世界は思った以上に複雑でその答えは簡単に見つからないことを実感しています。みなさんが大人になった時にはもっともっと知恵を絞らなければならなくなるでしょう。ヨーロッパだけでなく、世界中には解決困難な問題が山積しています。ぜひ、若い皆さんは、内向きにならず日本以外の国々にも目を向け、将来は、世界を舞台に活躍できることを願っています。昨年、麻生元総理が、ある記者会見で「最近だと『紛争でしたら八田まで(田 素弘著 講談社)』っていうマンガがスタートしたけども。読んでる人いる？一人もいない？」と記者たちを煽ったことで有名になったコミック

があります。知性と地政学を武器に紛争地帯に潜入し事件を解決する八田百合の冒険譚です。内容は非常にハードなものですが、エンターテインメントとしても十分に楽しむことができます。学校の学びも大切ですが、これからは教養の幅が物を言う時代です。ぜひ、気分転換もかねてテスト勉強の休憩時間に、どうぞ。



## 前期中間考査について

いよいよ、前期中間考査(5月31日～6月3日)が始まります。1年生にとっては、高校生になって初めての定期テストです。中学校とは違い、一日最大3科目のテストは、質も量も中学校の時とは格段に違うはずですが、しっかりと準備をして臨んでください。2・3年生にとっては進路に関わる大切なテストです。全体の学習成績の状況(評定平均値)を上げるためには、コンスタントに良い成績をとらなければなりません。特に3年生は、このテストでの仮評定によって、就職先や進学先が大きく変わってくることも考えられます。後悔がないように取り組んでください。

**先ずれば人を制す。** 何事も計画なしにはうまくいきません。ちょうど2週間前の今から学習計画を立てて、決して一夜漬けになることがないように規則正しくテスト勉強に取り組みましょう。以下のように2週間を使ってください。

**2週間前～1週間前** テスト範囲を全体的に見直し、重点的に勉強すべき部分を見極める。

**1週間前～3日前** 1週間前までにピックアップした部分を集中的に勉強し、分からないことを減らしていく。

**3日前～前日** まだ分からず残っている部分を徹底的に克服しつつ、ほかにやり残したことがあれば最終調整する。



## オンライン進路ガイダンスについて

コロナ禍の影響で、校内での進路ガイダンスを2年間行うことができませんでした。今年度やっとで実施できる目処が立ち、5月23日(月)にオンラインで進路ガイダンスを学年別を実施します。1年生を1・2限目に、2年生を3・4限に、3年生を5・6限に実施します。内容は以下の通りです。

### 【1年生】

就職(武道場)と進学(体育館)についての講話を聴きます。

#### 【就職】『キャリア形成について』

澤谷 美津枝 様(若者サポートステーション)

【進学】大学・短期大学・看護専門学校・専門学校について概要説明(講師:未定)

### 【2・3年生】

就職・進学それぞれに分かれ、小人数による対面(地元企業のみ)あるいはオンラインでのブース形式のガイダンスを実施します。参加予定企業・大学・短大・専門学校は以下の通りです。

【就職】高山市役所、高山市消防、岐阜県警察、自衛隊、ひだホテルプラザ、飛騨信用組合、飛騨農業協同組合、グリーンホテル、社会福祉法人高山八寿会、駿河屋魚一、遠藤隆浩税理士事務所、奥飛騨観光開発、ニプロファーマ飛騨工場、ファミリーストアさとう、若者サポートステーション(以下web参加企業)柏木工、V drug、日医工岐阜工場、東海旅客鉄道、中日本高速道路、朝日印刷、福井村田製作所

### 【進学】(web参加のみ)

岐阜県立看護大、静岡文化芸術大、岐阜聖徳学園大、岐阜協立大、岐阜医療科学大、中部学院大、岐阜女子大、東海学院大、中部大、名古屋文理大学短期大学部、中部学院大学短期大学部、高山自動車短大、JA岐阜厚生連看護専門学校、朝日大学歯科衛生士専門学校、専門学校名古屋ビジュアルアーツ、名古屋工学院専門学校、あいち福祉医療専門学校、愛知美容専門学校、名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校、金沢調理製菓専門学校、名古屋ユマニテク調理製専門学校、専門学校日本聴能言語福祉学院、あいち造形デザイン専門学校、ミス・パリエステティック専門学校、大原法律公務員専門学校、名古屋医健スポーツ専門学校、大原簿記情報医療専門学校、中日本航空専門学校、専門学校名古屋デザイナー学院、田原福祉グローバル専門学校、専門学校名古屋ビジュアルアーツ



## オンライン保護者対象進路ガイダンスについて

保護者の方々にご連絡します。6月13日~26日まで、進路ガイダンスの動画を視聴することができます。飛騨高山高校のホームページ上にURLのリンク先を掲載いたします。詳細は、6月1日以降にすぐメールにて保護者様宛にお知らせいたします。

ビデオは以下の3本です。



### ①【就職・公務員希望者】

- ◆過去3年間の就職状況
- ◆求人票の変更点およびその見方
- ◆就職までのスケジュール

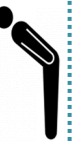
### ②【4大・短大希望者】

- ◆過去3年間の進学状況
- ◆選抜の種類やその特徴
- ◆受験までのスケジュールについて
- ◆大学入学共通テストについて

### ③【専門学校】

- ◆過去3年間の専門学校進学状況
- ◆総合型・学校推薦型選抜について
- ◆専願・併願および指定校推薦について
- ◆受験までのスケジュールについて

進学先を決めかねている、あるいは就職か進学を迷っている場合は、すべての動画を視聴可能ですので、ぜひ、参考にしてください。



## 小論文・志望理由書ガイダンス・職業適性検査

6月22日(水)6限目に小論文・志望理由書ガイダンス(進学希望者)・職業適性検査(就職希望者)を実施します。

- 小論文・志望理由書ガイダンス(進学者希望者)
  - \*『志望理由書の書き方と面接対策』のテキストを活用し、オンラインで講義を聴きます。
  - \*講師:山本 達郎 氏(株式会社 マイナビ)
  - \*会場は33、34、35クラスの教室です。
- 職業適性検査(就職・公務員希望者)
  - \*職業適性検査を実際に解いてもらいます。
  - \*会場は会議室です。

## 編集後記

ウクライナとロシアの紛争は、グテレス国連事務総長が「21世紀に戦争が許されるわけがない、これを見てみる。市民が常に一番の犠牲者だ」とコメントしているように、想像を超えた事態で、八田百合でも解決できないような酷い状態です。いかなる戦争にも勝者などいないことは確かだ、誠に愚かなことです。しかしながら、戦争の悲惨さを平和な日本で、疑似体験しようと思えば、本が映画しかありません。

第二次世界大戦のロシアとナチスの戦いをテーマにした逢坂冬馬氏のデビュー作『同志少女よ、敵を撃て』が2022年本屋大賞を受賞しました。モスクワ近郊のどかな農村で、母子共に狩りをして暮らす心優しいヒロインのセラフィマは、独ソ戦が激化する1942年、大学への入学が決まり、学んだドイツ語を活かして将来は外交官としてドイツとソ連の橋渡しを夢見ていました。そんな彼女が狙撃兵となり、スターリンググラードを皮切りに、独ソ戦の最前線に立ち、目の前で多くの仲間を失い、自らも幾多のドイツ兵の命を奪いながら、数限りない市井の人々の命が惨たらしく奪われていく生き地獄のような戦場をひたむきに駆け抜けていきます。読みだしたら止まらない傑作です。あまりにもタイムリーな話題で、少しでも販売冊数を伸ばすための受賞かなどと穿った見方をしがちですが、とても素晴らしい内容です。皆さんの若い感性にきくと響くはず。 (⊕)

